

院長ごあいさつ



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター院長

土肥 直文

皆さま、こんにちは。9月に入っても、まだまだ厳しい暑が続く毎日ですが、体調を崩されてはいないでしょうか？

さて、ここに西和医療センター情報誌「ファミリーユミむろ」の最新号をお届けします。今号は、当院で2年半前から稼働しています、手術支援ロボット「ダヴィンチ」についての特集を組んでいます。外科・消化器外科の大腸外科部長である榎塚久記先生は、大変高度な手術手技を有する西和医療センターの看板ドクターです。この手術支援ロボット「ダヴィンチ」は、人間の手の動きでは不可能なロボット特有の非常に細かな関節の動きを可能とする手（ロボットアーム）を術者である榎塚先生が巧みに操ることで、これまでの開腹手術や腹腔鏡手術では不可能だった繊細な手技を実現してくれます。また、様々な手術の中でも骨盤の奥にある直腸手術においては、その威力を特に大きく発揮し、実に繊細な手術を可能にしてくれます。大腸がんは、皆さまにとっても検診等で指摘されることがよくある、とても身近な病気です。この機会に是非、大腸がんの治療方法についての知識を深めておいてください。また、この内容に合わせて様々な職種のスタッフにより、がんのリハビリテーション、がんの薬物療法、がんを見つける為の検査、更には腸にやさしい食事などの紹介もしており、充実したものに仕上がっていると思います。大腸がんについて詳しい方、また身近に感じておられない方にも是非、このファミリーユミをお持ち帰りいただき、じっくり読んでいただければと思います。猛暑の季節ですが、熱中症など暑さに関する十分な対策をとっていただき、この夏を健康にお過ごしください。

令和8年9月

新任医師紹介

令和8年7月1日付

脳神経外科
部長



たかむら よしあき
高村 慶旭

